

やる気発生装置

大谷中学校・高等学校

この春、大谷高校で校長先生の交代があり、8年間にわたって校長職を務められた飯山等先生が退任されました。大谷での教員生活はなんと50年に及ぶといい、また校長就任される前からずっと生徒募集の仕事に関わっておられますので、我々塾の人間にとって、もちろん僕も塾業界に入ってからずっと、大谷といえば飯山先生というお付き合いが続いてきました。塾に向けての学校の入試説明会は5月頃から始まるのが通例なのですが、年度内に校長からご挨拶をとということで先月、異例の3月説明会をされる案内をいただき、当然ながら行って参りました。

お話が長い校長先生、というキャラを確立されてきた飯山前校長、年に2回ずつある説明会の際には必ず登場されるのですが、そのお話はただ長いだけにあらず、どっかの塾通信とは違って前と同じ話はされないですし、その度ごとに、人間観や教育観につながる深い内容をユーモアとちょっと毒舌も交えつつお話しになります。「入試や教育内容の大事な話は他の先生がするので、僕の話は聞かなくていいですよ」とはおっしゃるのですが、僕はいつもメモを取りながら夢中で聞いていました。お話の終わりには会場に拍手が起るのも毎回のことです。岐阜のお寺で住職も務められつつの教員生活だったそうですが、今後は岐阜に引っ越してお寺の仕事に専念されるそうです。「学校を退職することになってから、あちこちで『お疲れ様』と言われるんですけどね、僕疲れるほど仕事してないですから『お疲れ様』っていうのキライなんですよ」と話す飯山先生は力強く、まだまだお元気なのを感じます。ただ、その後参加者1人1人と挨拶するときには、塾の先生方のなかには定番のフレーズを封印されて、ちょっと戸惑った方もいたかも知れません。僕もいろいろとお伝えしたいこともあったのですがなかなか言葉が出てこなくて、飯山先生とガッシリ握手させてもらい会場をあとにしました。飯山先生、長年ありがとうございました。

4月より新たに校長に就任された乾文雄先生も、滋賀のお寺で住職をされつつ、大谷で長年宗教科の指導をされてきた方で、やはり筋金入りの宗教家です。「人と成る」すなわち「人間」を根幹のテーマとする大谷を新たな形で引っ張っていかれることと思います。大谷は京都を代表する私学の1つであり、当塾からも例年中3の上位層が受験しています。志望校に考えている人は気を引き締めて学力を磨いて欲しいです。



50年に及ぶ大谷教員生活を完遂して郷里に戻られた飯山前校長。在任中には消しゴムの他にもカレーやラーメンなど各種グッズが作られ、愛された校長像がうかがえます。



新しく校長に就任された乾先生。大谷での教職に加え、お寺の住職もされています。その人間味は、これからもお伝えしていきます。

当面の教室予定

4/16(火)~4/19(金)

16:00~22:00

4/20(土)

16:00~21:00

4/21(日)

お休みですm(_ _)m

4/22(月)~4/26(金)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。